



日本共産党

北区議会議員

# のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.70 2009.1.15

発行 のの山けん事務所

〒115-0044 赤羽南1-17-6

ご相談はお気軽に **090-2156-3510**

# 大企業は 内部留保<sup>使</sup>って雇用守れ

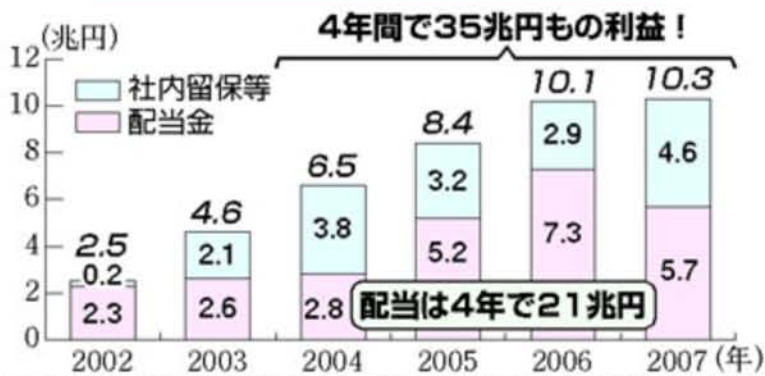
大企業による大規模な「派遣切り」「期間工切り」が社会問題になっていきます。一部に「企業が倒産するのを防ぐために、ある程度の雇用調整は仕方ない」などの声がありますが、実際はどうでしょうか。

## 製造業の利益は

## 4年間で35兆円の増

製造業の大企業は、この4年間で35兆円もの利益を増やしています。株主配当は、そのうち21兆円にのぼっています（グラフ参照）。例えば、トヨタとその関連グループだけで内部留保は17・4兆円。そのわずか0・2%を取り崩すだけで、雇用は守ることができず、体力も十分にある大企業が、雇用に対する社会的責任を放棄し、「首切り」による大失業の嵐の引き金を引くなど、到底許されるものではありません。日本共産党はこの間、一貫して「内部留保を活用して雇用を守れ」と主張してきました。

製造業の大企業の純利益と配当



財務省「法人企業統計調査」による。資本金10億円以上の製造業の法人企業純利益=配当金+社内留保等(役員賞与+自社株購入などを含む)

政府やマスコミも「内部留保」に言及  
河村官房長官は9日、衆院予算委で「(雇用の維持に)内部留保の活用もその一つ」とのべました。田原総一郎氏もテレビ番組で「内部留保はいま最高だ。なんで派遣を切るのか」と指摘。「雇用を守るために内部留保を取り崩せ」は、いまや大きな世論となりつつあります。



会場前で訴える池内氏(左)と、その都議(中央)

## 政治をカエル運動ともに

成人の日に、その都議、池内青年運動部長が訴え

「成人の日」の12日、成人式会場の北とびあ前で、そのはじめ都議、池内さおり衆院12区青年運動部長が訴え。新成人たちに「ゆきづまった自公政治を変え、未来に希望が持てる社会をともにつくりましょう」とよびかけました。  
宣伝行動には着ぐるみの「カエル」も登場。若者たちの注目を集めました。

# 初詣の旅

## 銚子電鉄、醤油工場、東京の夜景も満喫できた千葉の一日

1月11日、日本共産党志茂・赤羽後援会が主催する日帰りバス旅行「香取神宮・犬吠埼 初詣の旅」がとりくまれ、バス2台に65人が参加しました。

雲ひとつない快晴の空の下、午前7時半に赤羽を出発したバスは東関東道を一路千葉方面へ。の山げん区議が「今年は総選挙、都議選と2つの選挙がたたかわれる年。雇用、くらし、営業を守るため、政治を大もとから変える日本共産党を躍進させてください」とあいさつしました。

酒々井パーキングエリアで休憩



香取神宮総門前の石段で、全員そろっての記念撮影



そびえ立つ犬吠埼灯台

をとり、10時前には香取神宮に到着。記念撮影の後、総門、楼門をくぐって重要文化財にも指定されている本殿（拜殿）へ。獣の皮のような質感の、黒い桧皮葺の屋根に圧倒され、脇に立つ樹齢千年とも言われる御神木を仰ぎ見て、また感嘆。

再びバスに乗り込み、利根川を左手に見ながら河口へと走行、正午ぴったり犬吠埼に着きました。犬吠埼京成ホテルで乾杯、食事をした後は、しばしの休憩タイム。温泉や足湯につかる人、太平洋にせり出す犬吠埼灯台めざして散歩する人、ひたすらお土産を買い込む人など、思い思いの時間を過ごしました。

復路は、銚子電鉄でスタート。「ぬれ煎餅」で有名な犬吠埼駅から銚子駅までを20分余りかけての移動ですが、連休に団体乗車が重

なって、一両編成の車両は通勤電車並みの混雑に。「廃線危機のローカル線」がまるで嘘のよう。

銚子駅からはまたバスに乗り換え、5分ほどで「ヒゲタしょうゆ」工場に到着。「銚子といえば醤油」といわれるほど名産となっている醤油。その歴史や製造の過程を、映画や工場見学で学びました。

次にバスは「ウォッセ21水産物卸売センター」へ。海の幸でにぎわう商店街は、両手いっぱいにお土産を買う客の姿であふれました。ディズニールランドと東京の夜景に酔いしれながら、バスは午後8時に赤羽へと戻り、楽しかった初詣の旅が終わりました。



明るくモダンな雰囲気の銚子電鉄・犬吠埼駅。この構内で「ぬれ煎餅」を販売しています